



LDAP サーバ

LDAP サーバのウィンドウを使用して、LDAP サーバに関する設定値を設定します。このウィンドウを使用して特定のサーバを検索し、個々の設定値を変更できます。

LDAP サーバの検索

ネットワークに複数の LDAP サーバが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の LDAP サーバを検索することができます。特定の LDAP サーバを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザセッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索/一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

手順

ステップ 1 [アプリケーション]>[Cisco Unified Personal Communicator]>[LDAP サーバ]の順に選択します。

[LDAP ホストの検索と一覧表示 (Find and List Ldap Hosts)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

ステップ 2 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

ステップ 3 **[検索]** をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから **[選択項目の削除]** をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。**[すべてを選択]** をクリックしてから **[選択項目の削除]** をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.29-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

LDAP サーバの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースで LDAP ホストを追加または更新する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかのタスクを実行します。

- LDAP サーバを追加するには、[アプリケーション] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [LDAP サーバ] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- LDAP ホストを更新するには、P.29-1 の「[LDAP サーバの検索](#)」の手順に従ってホストを検索します。

[LDAP ホストの設定 (Ldap Host Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [表 29-1](#) の説明に従って適切な設定を入力します。

ステップ 3 データを保存して LDAP ホストをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される **[保存]** アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される **[保存]** ボタンをクリックします)。

追加情報

P.29-4 の「[関連項目](#)」を参照してください。

LDAP サーバの設定値

表 29-1 で、LDAP の設定パラメータについて説明します。関連する手順については、P.29-4 の「関連項目」を参照してください。

表 29-1 LDAP サーバの設定パラメータ

フィールド	説明
名前	このパラメータは、LDAP サーバの名前を指定します。
説明	このパラメータは、LDAP サーバの一般的な説明を示します。
ホスト名 /IP アドレス	このパラメータは、LDAP サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。
ポート	このパラメータは、LDAP サーバに対して設定されるポート番号を指定します。 デフォルトのポート番号：389
プロトコルタイプ (Protocol Type)	このパラメータは、LDAP サーバへ接続する場合に使用するプロトコルを指定します。次のいずれかの値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • TCP • UDP • TLS デフォルト：TCP

LDAP サーバの削除

この項では、LDAP サーバの削除方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** P.29-1 の「LDAP サーバの検索」の手順に従い LDAP サーバを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除する LDAP サーバを選択します。
- ステップ 3** LDAP サーバを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします）。

LDAP サーバが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。LDAP サーバが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

追加情報

P.29-4 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [LDAP サーバの検索 \(P.29-1\)](#)
- [LDAP サーバの設定 \(P.29-2\)](#)
- [LDAP サーバの削除 \(P.29-3\)](#)